

平成 24 年改定に向けた DPC（診断群分類）の見直しについて

1. 診療報酬改定時に実施する基本的な見直し

(1) 基本的な DPC の再検討

以下の指針に基づき、診断群分類全体の妥当性の検証及び見直し案の作成を実施。

- 1) 医療資源同等性が担保されている（医療資源の投入量が適切にグルーピングされている（在院日数、包括範囲点数））。
- 2) 臨床的類似性が担保されている（臨床的な観点から問題・違和感が少ない）。
- 3) 分類は可能な限り簡素であり、分類のコーディングに際して、臨床現場の負担が少ない。
- 4) その他制度運用上の問題が生じない。

(2) 改定で収載する新たな技術等への対応

医療技術評価分科会・先進医療専門家会議の評価を踏まえて、中医協で新規に収載される技術等に対応した診断群分類の修正を行う。

(3) 高額薬剤に係る見直し

前回改定以降、中医協において高額薬剤として出来高算定（※）が認められた薬剤等について、その後の使用実績に関する分析・検討により、当該薬剤等の DPC（診断群分類）における取扱いについて検討する。

〔 ※ 当該薬剤を使用した患者は診断群分類点数表（DPC/PDPS 点数表）の対象外患者となる（入院料を含め全て出来高で算定）。 〕

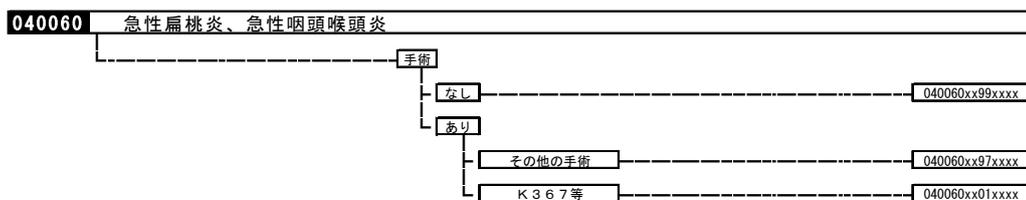
2. 平成 24 年改定において更に対応を検討する事項

(1) 化学療法関連 DPC における在院日数遷延防止のための対応

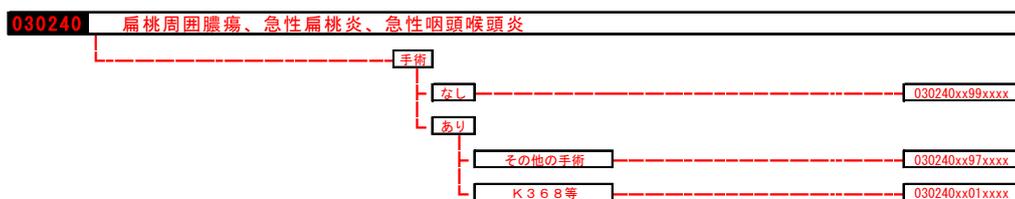
包括評価されている薬剤使用において、費用償還の観点から在院日数が逆に遷延するという不適切なインセンティブを解消するため、診断群分類点数表の点数設定方法の調整による対応について検討する。

〔参考1〕見直しの具体例

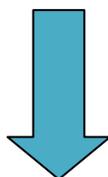
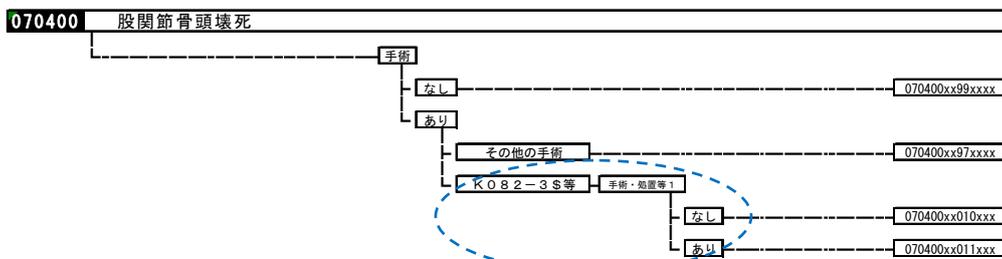
(1) ICD-10 コードと傷病名の適切な関係の検討（急性扁桃炎の例）



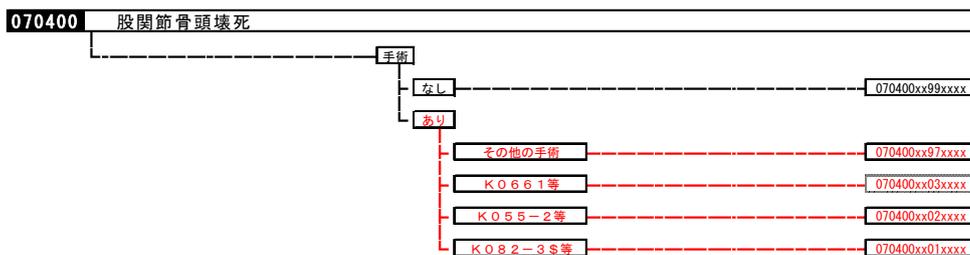
臨床的類似性・医療資源同等性から「扁桃周囲膿瘍」と「急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎」を統合



(2) 手術分岐、手術・処置等1分岐の見直し（股関節骨頭壊死の例）

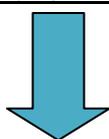


手術による医療資源同等性を再度分析し、分析結果から手術による分岐を見直した。これに伴い、不要となった手術・処置等1による分岐を廃止。



(3) DPC 構造上の整理 (定義テーブル内の位置づけの見直し) (循環器班の例)

診断群分類			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				
MDC	コード	分類名	手術分岐	対 応 コ ー ド	フ ラ グ	点数表名称	区分番号等	対 応 コ ー ド	フ ラ グ	処置等名称	区分番号等	対 応 コ ー ド	フ ラ グ	処置等名称	区分番号等
05	0070	頻脈性不整脈	手術なし	99	99	手術なし		2	3	心臓電気生理学的検査		4	5	体外ペースメーカーキング	K596
			その他の手術あり	97	02	不整脈手術	K594\$	1	1	心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について)	D206\$	4	5	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき)	K600\$
				97	03	ペースメーカー移植術	K597\$					4	5	人工心臓(1日につき)+補助循環	K601\$
				97	03	ペースメーカー交換術	K597-2					4	5	経皮的心臓補助法(1日につき)	K602\$
				97	03	埋込型除細動器移植術	K599					4	5	補助人工心臓(1日につき)	K603\$
				97	03	埋込型除細動器交換術	K599-2					4	5	埋込型補助人工心臓	K604\$
				97	97	その他のKコード	その他のKコード					1	3	人工腎臓 その他の場合	J0382
			経皮的カテーテル心筋焼灼術	01	01	経皮的カテーテル心筋焼灼術	K595\$								



MDC 内で「手術」「手術・処置等1」「手術・処置等2」の階層構造を可能な限り統一。

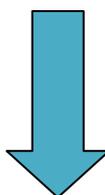
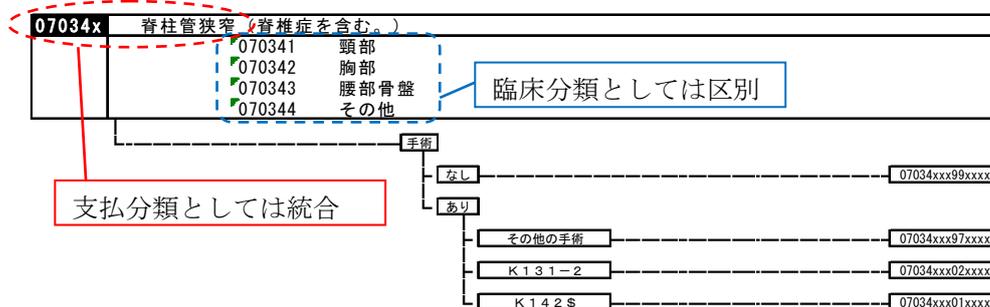
一部「処置1」へ移動

診断群分類			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				
MDC	コード	分類名	手術分岐	対 応 コ ー ド	フ ラ グ	点数表名称	区分番号等	対 応 コ ー ド	フ ラ グ	処置等名称	区分番号等	対 応 コ ー ド	フ ラ グ	処置等名称	区分番号等
05	0070	頻脈性不整脈	手術なし	99	99	手術なし		3	5	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき)	K600	4	5	体外ペースメーカーキング	K596
			その他の手術あり	97	02	不整脈手術	K594\$	5	5	経皮的心臓補助法(1日につき)	K602	4	5	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき)	K600\$
				97	03	ペースメーカー移植術	K597\$	5	5	補助人工心臓(1日につき)	K603	4	5	人工心臓(1日につき)+補助循環	K601\$
				97	03	ペースメーカー交換術	K597-2	3	3	心臓電気生理学的検査		4	5	経皮的心臓補助法(1日につき)	K602\$
				97	03	埋込型除細動器移植術	K599	1	1	心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について)	D206\$	4	5	補助人工心臓(1日につき)	K603\$
				97	03	埋込型除細動器交換術	K599-2					4	5	埋込型補助人工心臓	K604\$
				97	97	その他のKコード	その他のKコード					1	4	持続経徐式血液濾過	J038-2
			経皮的カテーテル心筋焼灼術	01	01	経皮的カテーテル心筋焼灼術	K595\$					1	4	人工腎臓 その他の場合	J0382
												1	3	中心静脈注射	G005
												1	2	人工呼吸	J045\$

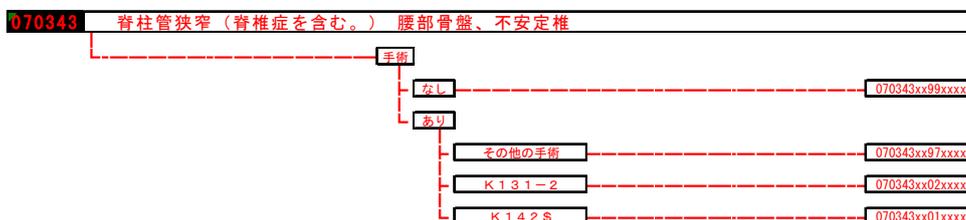
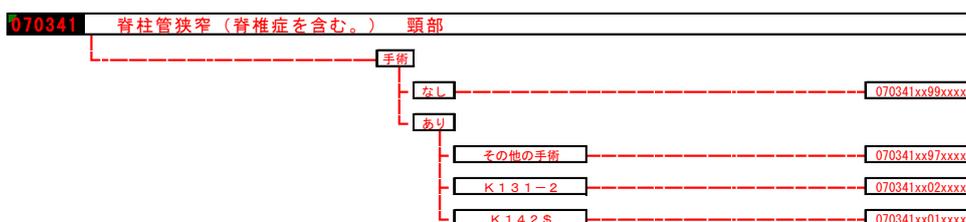
削除

(4) 支払・臨床分類の明確化（統合及び分離）

<分離の例>（脊柱管狭窄の例）



過去に医療資源同等性から支払分類として統合したが（臨床分類としては分けて考えるため傷病名は別々に記載）、今回の解析で一定程度の差が見られたことから、傷病名により支払分類を分離。



<統合の例>（子宮頸部・体部の悪性腫瘍）

修正前

120020	子宮頸・体部の悪性腫瘍
---------------	-------------



臨床的な観点から分類を傷病名で分けることとしたが、医療資源同等性から支払分類としては統合した。

修正後

12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍
	<ul style="list-style-type: none"> ▶120020 子宮頸部の悪性腫瘍 ▶120021 子宮体部の悪性腫瘍 ▶120022 子宮の悪性腫瘍（その他）

〔参考2〕 これまでの検討結果

	平成 22 年分類	平成 22 年分類 (副傷病なし)	見直し案(暫定値) (副傷病なし)
傷病名数	507		514
診断群分類数	2658	2494	2572

2. 今後の対応

引き続き診断群分類見直し作業を実施し、平成 24 年で改定する診断群分類点数表に反映してはどうか。